

## 平成28年度施策評価調書

整理番号	8
評価担当課	健康福祉部社会福祉課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	地域福祉活動の普及啓発(2-4-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	4	地域福祉の推進

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	町内会を基盤とした住民の支え合い活動の推進や地域と関係機関のネットワーク構築を通して展開する社協の「町内会ネットワーク事業」に対する補助金の支出
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	市内全町内会での取組を目指し、町内会に対し事業の周知を実施。58町内会からの申請があり(平成27年度実績)それぞれの町内会にて特色ある事業が展開され、独居世帯の高齢者や支援を必要とする人に対する見守りや、世代間交流などを通じて、関係機関のネットワークの構築が図られている。
施策の課題	小規模町内会では、支援を必要とする方の把握や、見守り体制などがすでに構築されており、当事業を必要としない場合がある。また、町内会役員の高齢化による担い手不足から事業を実施できない町内会への対応が課題である。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(28年度)
取組み町内会件数	申請・実施した件数	目標値	82	82	82	82
		実績値	58	59	58	
		進捗率	71%	72%	71%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	当事業を通して、支援を必要とされる方に対する支援を、民生委員児童委員、町内会福祉部、老人クラブなど、地域住民が相互に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりが展開されていることから、概ね順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、多くの町内会に取り組んで頂けるよう周知を図る。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	名寄市社会福祉協議会運営事業補助金	名寄市社会福祉協議会に対する運営事業費の補助(町内会ネットワーク事業分)	2,615	a	b	b	a	b	B	B	B

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	8	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	社会福祉課福祉総務係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄市社会福祉協議会に対する運営事業費の補助(町内会ネットワーク事業)			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	無	主要施策	4	地域福祉の推進
		基本事業	1	地域福祉活動の普及啓発
		実施計画事業	1	地域福祉体制の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	町内会を基盤とした住民の支え合い活動の推進や地域と関係機関のネットワーク構築を通して、誰もが安心して暮らせる地域づくりを展開することを目的としている。			
対象(何を又は誰を)	日常生活を送るのに不安があり、地域での支えが必要な方がいる世帯。概ね75歳以上の独居世帯。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	町内会が実施する、訪問・声掛け活動、生きがいづくり活動、除雪活動、世代間交流などに対し、開催回数や参加人数に応じて助成			
意図(どのような成果を期待しているか)	町内会と関係機関とのネットワークの構築、地域住民の支援活動の活発化。			
事業実施主体	名寄市社会福祉協議会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	H8年度	終期設定	有(終期年度)
根拠法令・条例等	なし			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	1	申請件数	件	目標	H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				実績	82	82	82	82	82
2				目標					
				実績					
3				目標					
				実績					
成果指標	1	実施件数	件	目標	82	82	82	82	82
				実績	58	59	58		
2				目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	2,460	2,460	2,615	3,467	補助金 2,615,000円 取組み町内会数 58町内会
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	2,460	2,460	2,615	3,467	
人件費	535	530	519	500	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.08	0.08	0.08	0.08	
総事業費	2,995	2,990	3,134	3,967	
対前年比(%)	—	100	105	127	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	52	51	54	
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	当事業は名寄市社会福祉協議会が実施主体であるが、当市の地域福祉の推進には地域住民の相互扶助の精神の醸成が不可欠であることから、当事業に対する補助金の支出は妥当と考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	助成を行うことで事業実施にかかる町内会の負担が減ることから有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	市からの補助金と併せて社会福祉協議会でも経費を負担して実施している。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	実施した事業に対する助成であるので、受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	目標は全町内会による取組みであるが、約70%の達成率である。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	安心して暮らすことのできる地域を目指して、今後も継続して取り組む必要がある。全町内会での取組みとなるよう、周知方法の改善が必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	年度初めに各町内会へ事業の申請についての案内を送付しているが、申請のない町内会に対して個別に事業の説明の機会を設け、申請の促進を図る。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり